

BULK CHEMICALS

株式会社 バルクケミカルズ・ジャパン

EC2400-005 (Dec.2019)

製品データ情報

E-CLPS® 2400

(スプレー および 浸漬 適用)

A. 特 長

E-CLPS®2400 はクロムフリーの代表的製品であり、磷酸塩を含まない金属表面処理剤です。

この製品は無色無臭で、主にアルミニウム、鉄、亜鉛及びその他の合金素材に対し、短時間の浸漬またはスプレー処理を行うことによって化成皮膜を形成します。

この製品を適正に使用していただければ、優れた塗膜密着性を実現し、さらに素材の保護皮膜としても効力を発揮します。

B. 使用方法概要

1) 建浴方法

1,000 リットルの処理液を建浴する場合

薬品建浴量

E-CLPS®2400 — 15～25L

処理槽に水（純水が望ましい）を注ぎ、設定量の E-CLPS®2400 を加えよく攪拌してください。

註）処理液濃度は、使用目的や要求性能によって設定します。

2) コントロールポイント（標準の作業状態）

滴定ポイント		7.5 ～12.5 ml
温度		15～60℃
スプレー時間		20～40 秒
浸漬時間		2～5 分
pH		8.0～10.0
電導度		(セクション F を参照ください)

BULK CHEMICALS

株式会社バルクケミカルズ・ジャパン

C. 処理工程

- 工程 1 脱脂
 - 工程 2 水洗
 - 工程 3 クロムフリー化成処理(E-CLPS®2400)
- 乾燥後に塗装可能。

註) E-CLPS®2400 工程後の水洗は必要ありません。

D. 皮膜処理のための前工程

素材表面の脱脂用には、アルカリ性のバルククリーナーを推奨します。もし油が多量に付着している素材で脱脂力強化が必要な場合は、バルクソル添加剤をバルククリーナー処理槽に添加してください。

脱脂工程後には水洗を行ってください。水洗水はコンタミ防止のため常にオーバーフローしていることが望ましいです。クロムフリー化成処理工程の槽への脱脂処理液持込は最小限になるよう注意してください。

註) 処理対象素材に最も適した脱脂剤タイプについては、BCJ 技術スタッフが推奨させていただきます。

E. 化成処理液条件

E-CLPS®2400 の一般的な処理液濃度についてはセクション B (使用方法概要) に記されていますが、ラインスピードやスプレー時間等の設備特有の条件下におけるコントロールポイントに関しては、BCJ 技術スタッフが検証の上、個別に設定させていただきます。

F. 化成処理槽メンテナンス

E-CLPS®2400 処理槽のメンテナンス方法は、現場で処理液の滴定を行い、そのポイントに従って必要量を補給することが基本です。その滴定方法は以下の通りです：

滴定 A

- a) 三角フラスコに、E-CLPS®2400 処理液を 100ml 採取し、ブロムクレゾールグリーン指示薬を 6~8 滴加える。
- b) 0.1N 塩酸を、処理液の色が青から黄に変わるまで滴下する。
- c) 指示薬の滴下量 (ml) を「滴定値 A」として記録する。

滴定 B

- a) 三角フラスコに、E-CLPS®2400 処理液の建浴に使用した水を 100ml 採取し、ブロムクレゾールグリーン指示薬を 6~8 滴加える。
- b) 0.1N 塩酸を、処理液の色が青から黄に変わるまで滴下する。

BULK CHEMICALS

株式会社バルクケミカルズ・ジャパン

- c) 指示薬の滴下量 (ml) を「滴定値 B」として記録する。
 - d) 「滴定値 A」－「滴定値 B」を E-CLPS®2400 処理液の滴定ポイントとします。
- ※ 建浴に使用した水の状態が常に一定であれば「滴定値 B」は常に一定ですので、2回目以降は1回目の滴定値を使用することができます。

補給

滴定ポイントを 1ml 上げるためには、処理液 1,000 ㍓当り、E-CLPS®2400 を 2 ㍓補給してください。

電導度

処理液の電導度は、溶解固形物 (Dissolved Solids) 計 (電導度水質計) を用いて測定することができます。使用中の処理液の電導度がその液の新建浴時の電導度を 400 マイクロオーム (226ppm) 超えると再建浴が必要になる場合があります。また、オーバーフローを行わない場合、同じ処理液を 2~3 週間以上使用するのはできるだけ避けて下さい。再建浴を行う際は、処理槽を清掃してください。

G. 運用における留意点

1. 本データシートに記載されている初期条件の設定や再建浴の条件等は一般的な条件です。個別案件に対する特定条件は BCJ 技術スタッフが別途設定させていただきます。
2. E-CLPS®2400 を取り扱う作業者の方は、必ずゴム手袋とフェースガードを着用して下さい。万が一、処理液や薬品が直接肌に付いた場合は、すみやかに水で洗い流して下さい。

H. 水洗と乾燥

1. E-CLPS®2400 処理後の水洗は必要ありません。
2. 被処理物は、間接燃焼オーブン、もしくは、煙、油、および燃焼ガスが直接触れない方法で乾燥してください。
3. 液溜まりが発生する形状の被処理物の場合、その液溜まりをエアブローで取り除いてください。また乾燥後、塗装工程に搬送する際、作業者は必ず綿の手袋を着用してください。

I. 処理設備における留意点

E-CLPS®2400 に使用する装置 (浴槽／器具) は軟鋼製をご使用ください。

註) その他設備に関する詳細は、BCJ 技術スタッフにお尋ねください。

※E-CLPS®2400 は Bulk Chemicals Inc.の登録商標です。